

# 1 日本列島の誕生とひろしま～帝釈峡遺跡群～

原始・古代

中世

近世

近代

現代

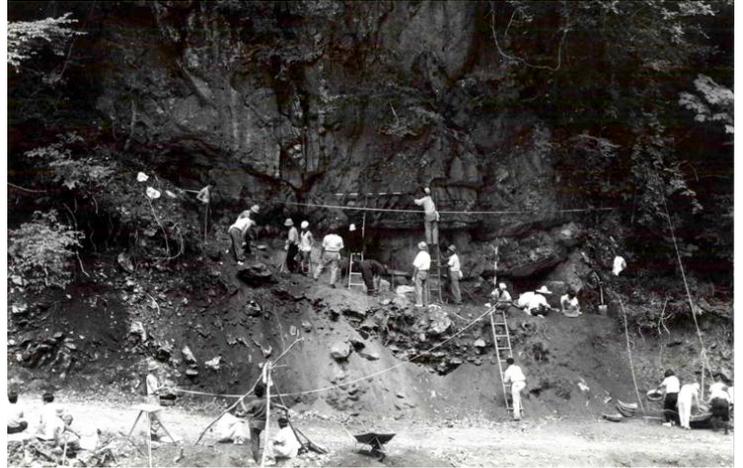
～ 1000 1100 1200 1300 1400 1500 1600 1700 1800 1900 2000 (年)

## 1 帝釈峡遺跡群とはどのような遺跡でしょうか？

帝釈峡遺跡群は、庄原市東城町から神石郡神石高原町，府中市上下町にまたがる50か所以上の洞窟遺跡や岩陰遺跡などから成る遺跡群です。

1961(昭和36)年に庄原市東城町馬渡で林道を広げる工事の際に遺跡が発見されたことから調査が始まりました。その結果，帝釈峡の洞窟や岩陰は旧石器時代から縄文時代を中心に住居として利用されていたことが分かりました。

帝釈峡遺跡群は石灰岩地帯にあるため，当時の人々が食料とした動物の骨や貝殻，さらには人骨も保存状態がよく，原始時代のくらしの移り変わりが明らかにできる貴重な遺跡群です。1962(昭和37)年以来，広島大学を中心として考古学・人類学・古生物学・地質学などの研究者が多数参加した調査が継続して実施されています。このように50年以上にもおよぶ調査研究は，日本国内では数少ない例です。



帝釈馬渡岩陰遺跡の調査風景  
(広島大学提供)



旧石器時代や縄文時代に広島県に住んでいた私たちの祖先はどのようなくらしをしていたのでしょうか？

## 2 帝釈峡遺跡群からはどのようなものが出土しているのでしょうか？

帝釈川支流の馬渡川のそばに帝釈峡遺跡群の一つである帝釈馬渡岩陰遺跡があります。

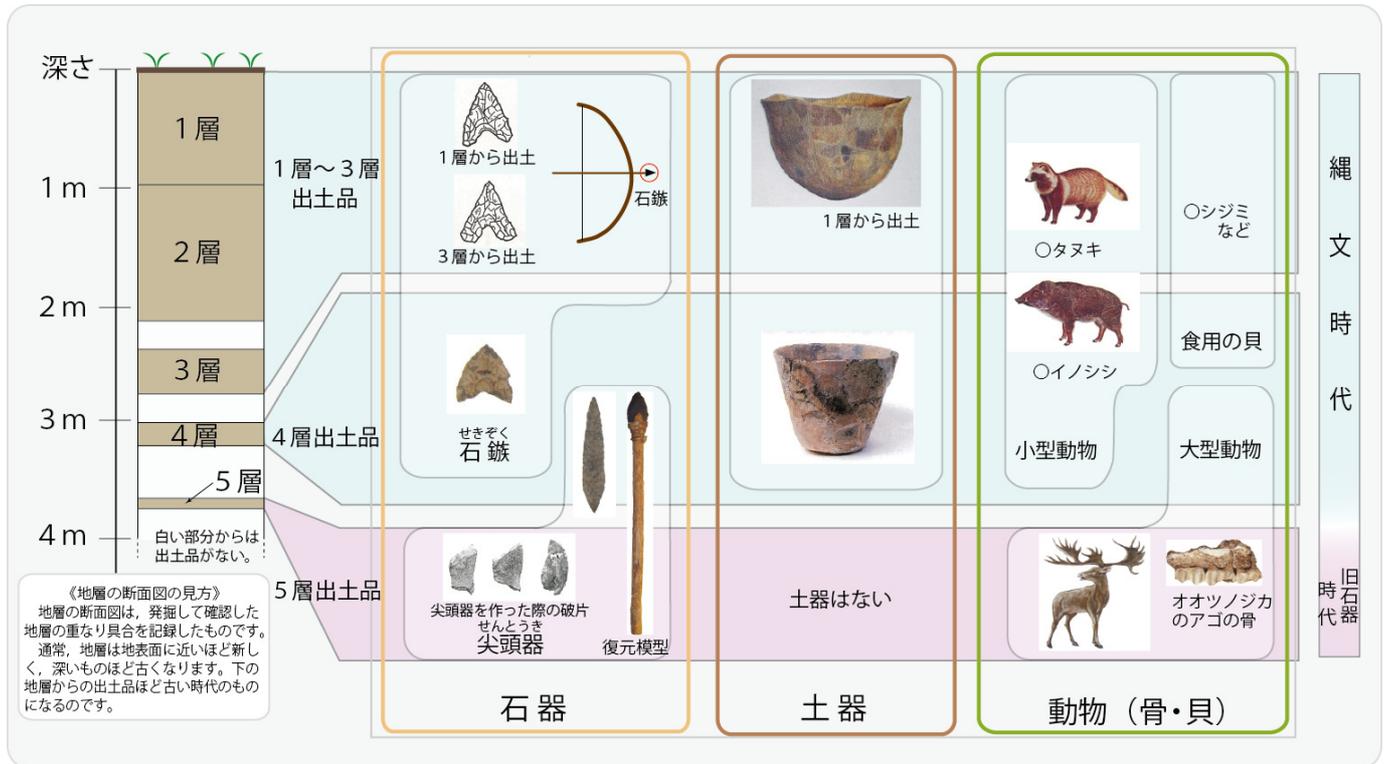
この遺跡では，次のページの図のように様々な出土品を含んだ五つの層が確認されています。

この遺跡の1層～3層からは，石鏃(弓矢の先の部分)や土器のほか，タヌキなどの動物の骨，シジミなどの貝類が出土しています。



岩陰を利用した住居の様子(想像図)  
(作画:細谷紗桜)

また、4層からは、石鏃や尖頭器(槍の先につける石器)、土器、イノシシなどの動物の骨、貝類などが出土しています。さらに、5層からは、数多くの石器のかけらやオオツノジカのアゴの骨が出土しています。



帝釈馬渡岩陰遺跡の地層の断面図と出土品(出土品は広島大学蔵)

### 3 帝釈峡遺跡群の出土品からどのようなことが分かるのでしょうか？

遺跡からの出土品によって、その遺跡がいつの時代のものなのか、当時の人々がどのような生活を送っていたのかなどを知ることができます。

上の図を見てください。5層は、出土品から旧石器時代の地層と考えられます。石器のかけらは、尖頭器をつくる際に出たものです。オオツノジカは氷河期の終わりとともに絶滅した大型動物の一つです。この時代には、広島県にもオオツノジカなどの大型動物が生息し、私たちの祖先は、それを狩りの対象としていたことが分かります。

また、1層～4層は出土品から縄文時代にあると考えられます。4層からの出土品に注目してみましょう。4層では、旧石器時代から使用されていた尖頭器が引き続き見つかる一方で、それまでにはなかった石鏃や土器が見つかります。石鏃は弓矢を使用していたことを示します。土器は煮炊きやドングリなどのアク抜きに使用されたと考えられています。

縄文時代が始まる頃、それまで氷河期と呼ばれる寒冷な気候から現在のような温暖な気候になり、野山に育つ草木など植物の種類や動物の種類が変化しました。山にはドングリなど食べられる木の実がなり、大型の動物が姿を消してイノシシやタヌキなど動きの素早い小型の動物が増えました。

4層にみられる道具の変化は、このような自然の移り変わりに対応するために、私たちの祖先が新たな道具を使うようになったことを示しています。

また、帝釈峡遺跡群では、石錘せきすいという丸い石に細い溝みぞが彫りこまれた石器が数多く出土しています。これらの石はどのように使用されたのでしょうか。

これは、網あみのおもりとして使われていたと考えられています。網は川での漁に使われました。魚介類ぎょかいりゅうを食料にするようになったのも縄文時代からです。これも自然環境の変化に人々が適応した結果と言えます。

網は見つからなくても石錘があったことから漁業をしていたことが分かるんだね！



出土した石錘（広島大学蔵）



石錘の使い方（復元写真）

旧石器時代から縄文時代にかけての自然環境の変化と人々のくらしの変化について、調べたことや考えたことをもとに自分の言葉でまとめてみましょう！



ここからは、「もっと調べてみよう！郷土の歴史」と「もっと知りたい！郷土の歴史」のコーナーです。テーマに関連して、もっと調べてみたらよい内容や関連する歴史について書いているよ！

### 【もっと調べてみよう！郷土の歴史】

- 帝釈峡遺跡群の展示施設じゅうかんとく時悠館じゆうかんに行って調べてみよう！
  - ・なぜ、帝釈峡から縄文時代の遺跡がたくさん見つかったのでしょうか。
  - ・石器や土器、動物の骨や貝類以外にどんなものが出土しているのでしょうか。
  - ・死者をどのように埋葬したのでしょうか。死者の埋葬の仕方を調べてみましょう。
- 廿日市市吉和にある冠遺跡群かんむりいせきぐんについて調べてみよう！
  - ・冠遺跡群とは、どのような遺跡でしょうか。
  - ・冠遺跡群周辺の石が帝釈峡遺跡群でも見つかったのはどうしてでしょうか。

帝釈峡から多くの遺跡が見つかるのってどんな理由があるのかな？



- ◇ まほろばの里 庄原市帝釈峡博物展示施設 時悠館  
住所：庄原市東城町帝釈未渡 1909 TEL：08477-6-0161 HP  
※ 帝釈峡遺跡群の出土品や縄文時代の人々のくらしについて展示されています。
- ◇ 神石高原町立神石民俗資料館  
住所：神石郡神石高原町永野 5036-1 TEL：0847-86-0151  
※ 帝釈峡遺跡群の一つである帝釈観音堂洞窟遺跡の出土品が展示されています。
- ◇ 広島県立歴史民俗資料館・広島県立みよし風土記の丘  
住所：三次市小田幸町 122 TEL：0824-66-2881 HP

身近な地域にどんな遺跡があるのか、僕もホームページで調べてみよう！



身近な地域の遺跡を調べてみよう！

～「広島県遺跡地図」～

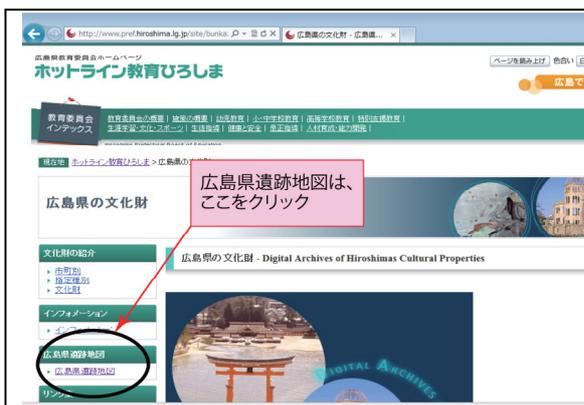
広島県教育委員会のホームページ「ホットライン教育ひろしま」の中に、「広島県の文化財」という県内の文化財について紹介しているページがあります。そのなかに「広島県遺跡地図」があり、これを開くと遺跡地図の利用規約が表示されます。そして、そのページの下にある「同意して利用する」を選ぶと、「地図から探す」と「市町名から探す」という画面が表示されます。ここでは、それぞれの調べ方を紹介します。

(1) 「地図から探す」～身近な地域のどこに遺跡があるか調べたいとき～

- ① 広島県全体の地図が表示されます。住んでいる地域を選んでクリックしてみてください。
- ② その地域の詳しい地図が表示され、地図の上に赤いマークと番号があります。マークの位置は遺跡の場所で、番号は遺跡の情報を一覧表で確認するときに使います。
- ③ 地図の右下の「一覧表へ」をクリックすると、その地図に表示された市や町の遺跡の一覧表が表示されますので、調べたい遺跡の番号の欄を見ると、遺跡の名前や種類、時代など、その遺跡の情報を確認することができます。

(2) 「市町名から探す」～身近な地域の「〇〇時代の遺跡」や古墳、山城跡など、調べたい遺跡の名前・時代・種類が分かっているとき～

- ① 県内の市町名の一覧が表示されます。住んでいる市町を選んでください。
- ② 選んだ市町にある遺跡の情報についての一覧表が表示されます(上の③と同じ表)。
- ③ 一覧表の中から、調べたい遺跡名や時代、種類などを探し、遺跡の番号(表の左から2番目)を確認します。また、その番号の右端の「地図番号」を確認します。
- ④ 一覧表の一番下に「関連地図へ」があります。③で確認した地図番号をクリックすると、その地図が表示されますので、その地図の中から、確認した遺跡の番号を探します。



「広島県の文化財」のホームページの画面

《遺跡を見学するときの注意点》

- ① 遺跡のある畑や山などが私有地の場合には勝手に入ってはけません。
- ② 地面を掘ってはけません。
- ③ 山城跡や山中の古墳などは、5～10月は草が多く見えにくいうえ、マムシやハチなど危険が多いので、注意が必要です。